

核兵器廃絶平和行進実施

核兵器禁止条約批准国40ヶ国に前進

2020年平和行進（大北地区）は、7月7日小谷から白馬、7月8日は大町市から池田町へ行われました。

新型コロナウイルス禍の中、感染防止で最小限に絞り、引継式は10人から20人程度とし、行進は伝力ーのみで訴えました。

池田町へは午後1時に松川村から到着し、大きな歓迎をいただきました。

はじめに激励の挨拶を副町長（町長出張中）からいただき、核廃絶の願いを込めたペナントを、

町や参加団体から
広島の世界大会に
向けて託
されました。

参加団体の
あづみ病院
労働組合と
国民救援会



の代表が決意を込めた挨拶を行い、その後伝力ーで池田町中を1時間30分くまなく核兵器廃絶を訴えました。

核兵器を違法化した核兵器禁止条約が国連総会で採択され、3年になります。この間も核保有国は核開発競争を続け、逆流も依然として続いています。しかし、核兵器廃絶の世界的流れは着々と前進しています。

この条約は50ヶ国が批准すれば発効します。7月に入つてフィジーとレソト（アフリカ）2ヶ国が批准し、批准国は40ヶ国に達しました。

唯一の被爆国である日本政府はアメリカに従属し参加していません。政府の態度を変えるよう一層運動を大きく強くする必要があります。

いま世界は、地球環境の破壊、温暖化による大災害、新型コロナウイルス禍など大問題に直面しています。

このような中で、核兵器関連支出はアメリカ354億ドル、中国104億ドル、英・露それぞれ89億、85億ドルなど、合計729億ドル（7兆9500億円）と巨大な金額を浪費しています。

レジ袋有料化のゆくえ

コンビニから出てくる男性の手には買った品物が落ちそうになり、あわてて車に乗り込む姿が見えました。

7月からのレジ袋有料化の導入は、店により戸惑う場面が見られます。

6月は新聞各社がプラスチック問題を取り上げ、環境問題について様々な疑問や意見を知る機会となりました。

すでに世界各国で最も海に浮遊しやすいレジ袋を廃止する動きが始まっています。さらに日本は自動販売機数が世界で首位を争うと聞いているのでペットボトルのゴミの制限も必要ではないかと思えます。

他にも増加している弁当容

人的ミスにより何度も水爆搭載爆撃機が墜落するなど核爆発の危機にも直面しています。危険でムダな税金の使用はやめて人類が直面する大問題の対策にこそ使わなければなりません。

太田勲



器や食品トレーなど身の回りにはたくさんプラスチック製品が溢れています。

レジ袋の有料化はとりあえず人々の意識改革のスタートラインにはなるかと思えますが、今後どの様にプラスチックの減量をすすめるのか、真剣に考えないといけないでしょう。

便利なラップ、キッチンバック、文房具のファイル類など毎日の消費は膨大です。

便利で安価なプラスチックに変わるものがないとすれば、これからの生活様式を見直さなければなりません。ドイツの家庭の話しを聞いたことがあります。牛乳の容器はビン、冷蔵庫に入れる時

河井事件と首相「責任を痛感」ではすまされない！

河井克行前法相・衆院議員と妻・案里参院議員（ともに自民党離党）による昨年7月の参院選広島選挙区での大規模買収事件をめぐり、安倍晋三首相の姿勢に国民の厳しい目が注がれています。

最新の世論調査では、克行氏を法相にした首相の責任は「重い」との回答が約7割に達しました。

首相は河井夫妻事件について「責任を痛感」と繰り返し、ただで、実際に責任をとる行動は全くせず、事件の解明にも動こうともしません。そもそも、もつとも問われているのは、選挙での資金提供をはじめとする首相自身の関与です。

国民への説明ないまま

法務行政をつかさどる法相を経験した政治家が逮捕された事件は戦後かつてありません。

起訴容疑は、案里氏当選の



毛利議員が反対討論

ために100人の地方議員や首長、後援会員らに計約2900万円の現金を渡し、票の取りまとめを依頼したという悪質極まる公職選挙法違反（買収）です。

受け取った側へも批判が強まり、辞職する首長や議員が相次いでいます。

一方、河井夫妻は議員辞職に応じず、首相も自民党も辞職を求めています。

長野県新型コロナウイルス条例制定 共産党県議団は「拙速」と反対

7月3日県議会は「新型コロナウイルス条例」を賛成多数で成立させました。条例は知事が必要と認めた場合、罰則は設けないものの、県独自に休業や

なにより重大なのは、党本部から提供された1億5000万円もの巨額資金です。

その8割にあたる1億2000万円は税金である政党助成金とされます。

これらが買収の原資になった疑いは深まっているのに、首相らは「厳格なルールで運用されている」などと述べ、国民に説明しません。

口先だけの「責任」で逃げ続けることははや許されないのではないのでしょうか。

3丁目 山本久子

外出自粛を求めることが出来るとしています。

共産党県議団は「第1波の問題点・課題の検証が不十分。県民に分かりやすい説明もなく、やり方があまりに拙速」と、採決に反対の立場を取りました。

県のPCR検査能力は1日約300件と少なく、検査が受けられるのは症状があり、

読者の声

○NHKの朝ドラ「エール」放映が後半に入っています。3千曲以上を作曲した古関裕而をモデルにしたドラマです。

これから「長崎の鐘」「君の名は」「五輪行進曲」などは必ず流れると思います。

しかし古関は戦争中50曲以上の軍歌を作曲しています。「勝つてくるぞと勇ましく、誓つて国を出たからは、手柄立てずに死なうか」（露営の歌）「若い血潮の予科練の・・・」（予科練の歌）「ああ、あの顔であの声で・・・」（暁に祈る）。

多くの兵士を送り出し、戦場で自分を鼓舞して死んでいった事実は残ります。

ドラマではこの歴史的背景をどのように描くのか注目し

蓋のかわりに皿を載せてラップはあまり使用しないそうです。マヨネーズ、調味料も瓶詰めが多いそうです。

リサイクルの風土が定着しているからでしょうか。私たちも使い捨ての生活を見直す努力をすることが海の生き物を守り、温暖化を抑制することに繋がるのではないかと考えます。

3丁目 薄井百子

私の願い

すべてを市場原理にまかせ、大企業のもうけを何よりも優先する社会ー新型コロナウイルスのパンデミック（世界的流行）のなかで、新自由主義を問う声が世界に広がっています。

「先進国」といわれる国で、新自由主義の害悪が口々に語られ、「ノー」の声がいっせいに上がっています。

コロナ後の世界は、以前に戻るのではなく、国同士がお互いに思いやり、支え合う世界になってほしいと心から思っています。（終息を願う町民）

休業を求めた場合の補償など、県民に説明すべきことは多いです。

中島 牛越邦夫

ています。

（朝ドラのファン）

○「熱中症予防で水分摂れ」と言うので、知り合いはポカリスエットを毎日1本飲んでいたら血糖があがったとのこと。水か麦茶がいいと聞いたので飲んでる。汗はかかないので塩は入れない。なるべく飲むようにしている。

（60代女性）

○終活で写真の整理をしています。捨てること決めたけれど、可燃ゴミには入れる勇氣が出なくてまだ手元にあります。葬儀用の写真も用意しなくては。

（70代女性）

